NPO 法人ケアマネット 21 研修会 アンケート結果

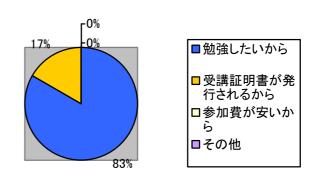
「認知症の地域支援を学びケアマネジメントに活かそう!」

【参加者】 ケアマネット 21 会員:28 名 非会員:23 名 計51 名

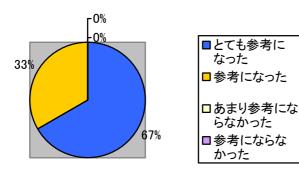
アンケート回答者:36名 回収率:70.6%

●今回の研修参加について

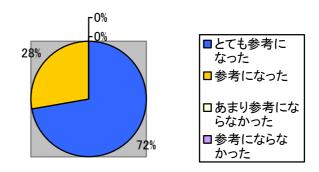
●研修参加の動機について



●講義の感想について



●意見交換・グループワークの感想について



●午前の講義について感想をお聞かせ下さい。(自由記述)

- ・認知症は誰もがなりうる病気。予防とはならないようにすることではなく、なっても安心して暮らせる支援 があるということが重要であることを学んだ。
- ・見守りシールを知らなかったので利用してみたいと思った。
- ・振り返りができ、新しい情報、他市の取り組み等を知ることができた。
- ・宗像にはないコールセンターや家族の会の話しを聞けて良かった。
- ・認知症の方や家族の方の支援についてどのようなものがあるのか情報を沢山集めることができた。
- ・なかなか家族の生の声を聞くことがなかったので、とてもよい機会になった。考えさせられる内容だった。
- ・老いを支える北九州家族の会の「私を知ってっちゃノート」に今までの記録を残していくことで、ご本人ら

しい支援が行えると思った。記憶がなくなった状態で、ご本人を理解するのはなかなか難しいと思うので、 エンディングノート同様参考になると思う。

- ・「私を知ってっちゃノート」は、ご本人が言ったことや気になることなどを書くことによって、ご本人が何 もわからなくなった時など、とても参考になると思った。
- ・「私を知ってっちゃノート」本当に利用してみたいと思う。
- ・若年性認知症の方で、まだ就労意欲を持っている人がいるので、就労継続支援についてもう少し聞きたいと 思った。
- ・「認知症に関する国の動向及び北九州市の認知症への取組について」の資料、ところどころ文字が読み辛い 部分があり残念だった。講義内容・説明は分かりやすく良かった。

●午後の意見交換・グループワークについて感想をお聞かせ下さい。(自由記述)

- ・意思決定支援のガイドラインについての講義を受け、意思決定支援がより理解できた。介護保険だけではまかなえない部分も含め、日頃からのネットワーク作りが大事だと思った。
- ・老いを支える北九州家族の会の方々の生の声を聞けて良かった。
- ・老いを支える北九州家族の会の活動や取り組みを知ることができ良かった。
- ・老いを支える北九州家族の会の方々がインフォーマル資源として、とても重要な役割を担っていることを知った。家族の会の方々にケアマネジャーの苦情が届かないよう頑張りたい。
- ・グループワークを通じてケアマネジャーとして抱えている問題は同じだと思った。
- ・他のケアマネジャーとの思いや悩みを共有できて良かった。
- ・グループワークにおいて、いろいろな意見が聞けて良かった。自分の中では忙しくしているつもりはないの だが、周りにそんな思いをさせていないか、もう一度振り返らなければならないと思うし、ゆとりを持った 対応を心がけたいと思う。
- ・認知症の方への理解、ケアマネジャーのあり方について改めて気づかされた。

●今後、企画して欲しい研修内容や活動内容などがありましたらご自由にご記入下さい。

- ・ 障がい者施策について
- ・法改正について

【性別】

●アンケート回答者の属性について

【年代別】

11%

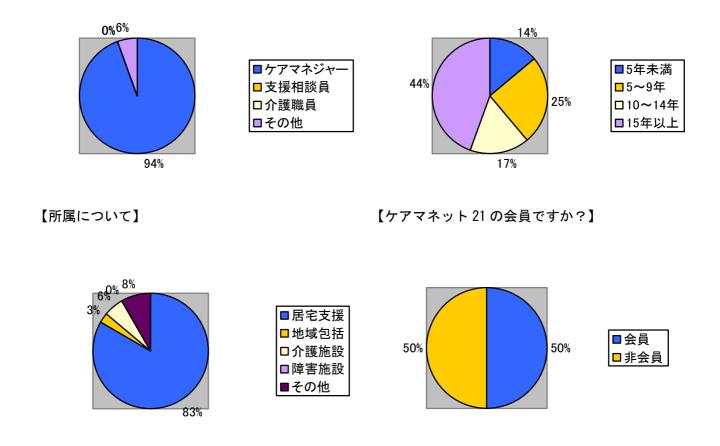
28%

11%

□ 20歳代
□ 30歳代
□ 40歳代
□ 50歳代
□ 60歳以上

【職種について】

【ケアマネジャーとしての実務経験】



以上

皆様、アンケートへの回答、ご協力ありがとうございました。 今後の活動の参考にさせていただきます。